

第18回ドリームチャレンジ賞 応募申請書

(在学生のチャレンジ活動資金)

2024年 6月 15日

広島大学校友会会長 越智 光夫 殿

広島大学同窓会会長 原田 康夫 殿

校友会会員番号(13桁)

申請代表者 氏名 ふりがな もとはしりょう 本橋 諒

所属・学年・学籍番号 理学部生物科学科2年

活動グループ又は所属 広島大学体育会馬術部

電話(携帯)

Eメール(PC) @hiroshima-u.ac.jp

「第18回ドリームチャレンジ賞応募要領」に基づき、以下のとおり申請します。

活動テーマ

地域を巻き込んだ循環型農業の実現～「優勝堆肥」でリサイクル！～

共同活動者	別紙共同活動者一覧のとおり	共同活動者人数	25名
活動期間	： 令和6年 10月 1日 ～ 令和7年 9月 30日		

1. 活動計画の概要

独創性・ドリーム性・チャレンジ性・社会貢献性・発展性をふまえて記述し、5つの項目それぞれの記載箇所には下線を引いてください。(1)～(5)合わせて1,200字以内でまとめてください。

(1) 活動テーマの背景

私たち馬術部は、現在、中四国地区学生馬術大会の総合優勝を継続しており、全国大会への切符を手に入れ、晴れの大舞台で地方大学の意地を見せ、国立大学の総合成績No.1を獲得できるよう、日々、取り組んでいるところです(最高順位は全国3位)。

そのため、これまでもドリームチャレンジで取り組んできた『オリンピック出場レベルの馬を育てる！』ことや、『引退競走馬に活躍のステージを与える！』といった夢の実現に向けて、今も果て無き挑戦を続けています。大会成績のみならず地域貢献活動も重視する強い馬術部を理想としていますが、効果的なトレーニングのための遠征や平素の馬匹管理の質向上のためには、目下の物価高騰も相まって多額の経費が必要となっています。

そんな折り、大学職員の皆様や地域の皆様からのご支援をいただき、広島大学馬術部の敷地内に馬糞発酵処理施設を建設いただきました！

馬糞の市外搬出には、輸送費負担や交通事故の危険も伴っていたことから、こうした負担を大幅に減らしていただいたことに、まずは心より感謝を申し上げます。

この度のチャレンジは、「こうした環境を馬術部にとって如何に有効活用できるか」といった目線で検討し、標題のとおり「地域を巻き込んだ循環型農業の実現～「優勝堆肥」でリサイクル！～」と銘打ちました！



(2) 活動の目的

現在、世界中で環境汚染、自然破壊、食糧難などが問題視されています。それを解決するために作られたのが SDGs で、地球の未来のためにも私たちは持続可能な社会を目指す必要があります、馬術部ももはや例外ではありません。

今回の挑戦では、設置していただいた馬糞発酵処理施設を有効活用し、馬糞堆肥を作り、地域の皆様に配布して農業等に活用いただき新たな農作物の成長に繋がるリサイクルを生み出すことで、SDGs の目標 12 である「つくる責任つかう責任」を達成します！

(3) 活動の必要性

広島大学馬術部は、大学職員の皆様や地域の皆様のご支援のおかげで成り立っているといっても過言ではありません。そこで、この度の挑戦では、こうした皆様に貢献できる活動を目指しており、「地域を巻き込んだ循環型農業を実現」は、結果として馬の食物の成長など自給自足の活動となります。

物価高騰でお金が無くて…と嘆き、活動を諦めるのではなく、その環境を逆手にとって世界に貢献できる馬術部になるためには必須の活動です。

(4) 活動の特徴

馬術部では、食べることはできても販売することが出来ないニンジンを中心に市内の流通センターからいただいて馬に与える、「3 R 活動～捨てられる食料を減らすこと～」に貢献しています。そこから生まれる馬糞堆肥を用いて農作物を作るサイクルが完成すれば、目的である SDGs に貢献することができます。

そのため、地域の皆様から「馬術部の馬が生み出す馬糞由来の堆肥はとても素晴らしい！」とご評価いただくことが必要です。名は体を表す…と言いますが、大会で好成績を残す馬たちから生み出された堆肥を、私たちは「優勝堆肥」と名付けて、地域の皆様に愛用されることを目指します。

(5) 期待される結果

「優勝堆肥」を馬術部主催のホースフェス（体験乗馬会）で配布するなど、今まで以上に地域の皆様との交流を深めることで、私たちの活動の周知に繋がり、寄附金を始めとした会計面の改善にも繋がることを期待できるとともに、会計面での改善は、遠征などによる人馬の成長、ひいては国立大学 No.1 に近づくことが期待できます。

2. 活動実施計画 (2,000 字以内) 具体的な活動実施計画の記載箇所に下線を引いてください。

(1)馬糞由来堆肥の製造

馬糞の発酵処理のためには、多くの手順が必要となります。

手を抜くと、より質の高い堆肥はできず、安全な農産物の成長にも繋がりません。

そのため、次の点に留意します。

- ① 大学職員の皆様の協力のもと、馬糞を攪拌する作業を適切に行う
- ② 部員は、馬糞にゴミなどの不純物が混ざらないよう注意する
- ③ 発酵した馬糞が溜まり過ぎることのないよう、適時配布する

年始から取組みを進めた結果、本年 5 月には発酵が完了した第 1 号の馬糞堆肥ができました。



(2)地域の皆様へのアピール

馬糞堆肥は土壌を良くする能力があり、鶏糞、豚糞に比べて匂いがないという特徴があり、街中や小学校、幼稚園の花壇で使用しても問題がありません。堆肥の質に関しても、大学の先生に成分の分析を依頼するなど農家の皆様が安心して使用できる信頼性を獲得するよう努めたいと考えています。

第 1 号の馬糞堆肥に続いて、第 2 号、第 3 号・・・と堆肥を作り、周辺地域の農家の皆様を始め、大学寮の菜園や、幼稚園・小学校などにもお配りします。配るといっても、ただ単に配るのではなく、

(様式1)

広島大学馬術部と地域の皆様とのつながりを深める形でお配りしようと考えています。

具体的には、ゴールデンウィークや秋頃に行われるホースフェス（体験乗馬会）にご参加いただき、馬術部の活動を紹介しつつ配布します。地域の皆様と交流しながら、安全面の説明やリサイクルの意義を伝え、より興味を持って馬糞堆肥を使ってもらえるようにします。

(3)循環型農業の実現に向けて

こうした取組みを継続し、循環型農業の構築を目指すことは、SDGsの目標12である「つくる責任つかう責任」を果たすことに直結します。

具体的には、地域の農業にもたらす循環型農業のイメージを次のとおり考えています。

◎堆肥を活用したリサイクルによる持続可能な営農モデルの構築イメージ

- ① 化学肥料を100%使用しない有機農業によるブランド化の推進
- ② 無農薬の取組みと『優勝堆肥』のコラボ野菜育成による付加価値の上昇
- ③ 高騰する農業コストの低減による利益率の向上
- ④ 化学物質による環境への影響がなく地域農業の持続的な発展に貢献
- ⑤ 加えて耕作放棄地の利活用や再生可能エネルギーの導入など地域の脱炭素化にも貢献

循環型農業の実現に向けて、次のとおり一歩ずつ前進します。

- ・大学の先生に成分分析を依頼し、馬糞堆肥の素性と有効性を確認（既着手）
- ・ホースフェスなどを通じて地域の皆様に馬糞堆肥（試供品）を提供（既着手）
- ・農家の皆様に馬糞堆肥を試していただき意見聴取
- ・実際の馬糞堆肥活用のため、具体的な工夫や運搬方法の検討
- ・中国新聞や地元誌プレスネット、FM東広島などメディアを通じたアピール

こうした取組みを継続し、発酵や運搬に関する工夫を重ねることで、「優勝堆肥」のブランド化を進めます。馬術部の取組みが認知されることにより、広島大学の地域貢献活動として広く認知されることで、広島大学の価値の向上にも繋がります。

私たちは、ピンチをチャンスに換えるこの取組みを、体育会の部活動として全力で進めていきたいと思っています！

3. 助成金交付申請額

50万円

（経費の必要性）枠内におさまるように記載し、具体的内容の記載箇所に下線を引いてください。

現在、馬術部には8頭の馬が在厩しています。馬の体調管理は馬術部活動の最優先事項であり、馬が体調不良になると練習を行うことも出来なくなってしまいます。そのため、日常の体調管理には馬が食べる飼料の質の維持や馬房に敷くおがくずをきれいに保つことが重要です。

さらに、月に一度蹄を守るための装蹄を行い、定期的にワクチン接種、馬が怪我や病気になったときには診療費や薬代といった費用が必要となります。最近では円安などの影響により飼料が高騰し、より多額の費用が必要となっています。

こうした中で、馬の健康を維持することが、定期的な馬糞の排出と堆肥の製造に繋がります。

また、人馬共に安全を確保するため、プロテクターを装着する必要があるため、騎手のボディプロテクターは一部壊れたものを部員で修繕し使っている状況であるとともに、大会用ボディプロテクターはルールの変更に伴って基準をクリアしたものを購入する必要も生じています。

また、馬の肢に着けるプロテクターについても消耗が激しく部員で修繕して使っていますが、馬の激しい運動により劣化するため定期的に買い替える必要があります。

これらの経費を賄うには部費のみでは収入が足りないため、練習時間を削り、部でアルバイトをするなど臨時的な収入を確保して凌いでいますが、それでも予算が足りない現状となっています。

人馬にとって適切で安全な活動を継続し、循環型農業の構築にも繋げる必要があることから、十分な維持管理経費の確保にご支援よろしく願いいたします！

4. 収支予算計画（支出予定額合計と収入予定額合計を一致させること。）

※実施計画全体に係る支出・収入経費（部費、参加費、大学や企業からの支援等、本支援以外の経費も含める）を記載すること。

※支出予定経費に記載した内容以外への支出は認めません。

●支出予定経費

(様式1)

経費区分	摘 要 (内訳)	金額 (円)
設備備品・消耗品費	馬房に敷くおがくず 5000 円×2 回/月×12 ヶ月 馬糞処理用の消耗品(袋、チラシなど) 2 万円 人馬のプロテクター 1 万円×6 個=6 万円	20 万円
行事費	新勧経費 9 万円	9 万円
交通費	夏大会輸送費 西条～蒜山 15 万円 全日本学生馬術大会輸送費 西条～東京 30 万円 野外走行練習・遠征費 西条～三木 20 万円	65 万円
その他経費	管理馬 8 頭の装蹄代 10 万円×8=80 万円 獣医師診療代・歯削り代 25 万円 障害作成費 5 万円 飼料代 33 万円(／月)×12(ヶ月)=396 万円	506 万円
支出合計		6,000,000 円

●収入予定経費 (本支援を含む)

経費区分	摘 要 (内訳)	金額 (円)
部費	学部 2～4 年生 : 6,000 円×14 人=84,000 円 学部 1 年生 : 2000×11 人=22,000 円 計 106,000 円×12 ヶ月=1,272,000 円	127.2 万円
ドリームチャレンジ賞		50 万円
学馬連支援金	飼育補助金 100 万円 活動補助金 50 万円	150 万円
指導者・OB 支援金	指導者会支援金 129 万円 OB 会支援会 79.8 万円	208.8 万円
部員バイト代 (部費とは別途徴収)	2～4 年生 : 30,000×14=42 万円 1 年生 : 20,000×11=22 万円	64 万円
収入合計		6,000,000 円

5. その他

①前回ドリームチャレンジ賞の採択団体は、活動状況(進捗状況等)を 200 字程度で記載してください
夏季中四国大会では、清香号は総合 2 位という結果で、全日本学生馬術大会の権利を獲得しましたが、本番は体調不良により不出場という結果になり 2 年連続完走をすることは叶いませんでした。
一方で、清天号は RRC という三木ホースランドパークで行われた大会で入賞、コーナスフロリダ号は春季中四国地区学生馬術大会にて小障害飛越競技で 2 位という成果を残しました！

② 他の機関等への重複申請・採択状況の有無について

☐有 ()

☒無

③ 指導教職員またはチューターの推薦 ※必須 (推薦文がない場合は申請不可)

馬術部の活動には必ず生じる馬糞。これまでその処理に苦労してきましたが、それを逆手に取り、活動を活性化させる手段として馬糞の堆肥化にチャレンジする取り組みです。この活動を通じて、スポーツ・競技活動が活発になるとともに、地域の農業、食料、環境問題、地方行政などへの学生の視野が広がり、地域との連携などを通じて広島大学の躍進にもつながると信じます。

指導教職員／チューター (所属) 統合生命科学研究科 生物資源科学プログラム

(職名) 教授 (氏名) 小櫃剛人

2024 年 6 月 14 日 (電話) (E-mail) @hiroshima-u.ac.jp

●申請書は 4 ページ以内で作成すること